

相模原市での豚熱発生に係る横浜市の対応について

7月8日（木）、神奈川県により、相模原市内において豚熱を疑う事例が確認されました。

同日、国の検査により、豚熱陽性であることが判明し、国は、相模原市内の疫学関連農場のほか本市内の1施設（と畜場）が疫学関連施設である旨を発表しました。

これを受け、本市では、本日横浜市CSF対策警戒本部を設置しました。

本市疫学関連施設（と畜場）では、日頃から神奈川県と連携し適正な防疫体制を講じており、加えて、本日も神奈川県により防疫体制の確認が行われました。そのため、明日以降も通常どおり業務を行う予定です。

今後も国・県の指導に基づき適切に対応し、市民の皆様に安全な食肉を提供していきます。

《消費者の皆様へ》

豚熱は、豚やいのししの病気であって人に感染することはなく、仮に豚熱にかかった豚の肉や内臓を食べても人体に影響はありません。また、感染豚の肉が市場に出回ることはありません。

関連先ホームページ

- ・豚熱（CSF）情報（神奈川県ホームページ）

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/w5c/cnt/f535305/test-csf.html>

- ・農林水産省ホームページ（豚熱について）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/210708.html>

お問合せ先

横浜市 CSF 対策警戒本部に関すること：総務局緊急対策課担当課長 河野 宏紀 Tel 045-671-3459
と畜場に関すること：経済局中央卸売市場食肉市場運営課長 山本 将之 Tel 045-511-0491
豚熱に関すること：環境創造局農業振興課長 朝倉 友佳 Tel 045-671-2606